

市政に対する一般質問一覧表

平成26年第2回定例会

質問順位 1

議席番号 4番

氏名 奥本 菜保巳

質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
<p>1. 基地問題</p>	<p>1. グローバルホーク一時展開における危機管理体制について 無人偵察機グローバルホークは米カリフォルニア州ビール基地による遠隔操作によるところであり、緊急事態など、操作不能になった場合の安全対策については不十分であり、不安は払しょくされない。 所属は米軍三沢基地ではないため、情報提供についても不透明である。当市における危機管理体制について伺う。</p> <p>2. 基地依存経済における将来的見通しについて 平成27年9月までに米軍兵士等500人の人員削減が予定されており、基地依存経済に影響が及ぼされるところである。 基地従業員の身分保障や米軍人等専用住宅の所有者への救済対策について、県・国に対して要望すべきと考える。また、基地依存経済一辺倒から三沢市が強みとする本来の産業の育成からの地域経済の発展を将来的に構築していく方策も必要と考える。当市の見解を伺う。</p>
<p>2. 教育問題</p>	<p>1. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案、いわゆる教育委員会改革法案が5月16日の衆議院文部科学委員会で可決された。 この法案は、教育委員会にかわって首長が教育行政の基本的方針である「大綱」を策定できるようになり、首長による歯止めのない教育介入の危険性をはらんでいる。 教育の自由、自主性を守る本来の役割をはたすべき教育委員会のあり方が問われる。当該法案への見解を伺う。</p> <p>2. 就学援助制度における入学準備金の支給時期について 現在、就学援助制度における新入学児童生徒学用品費等の支給時期が9月初旬からの支給になっており、入学準備の際に必要な時期から、大幅にずれ込んでいることから、支給時期を3月に前倒しすべきと考えるが、当局の見解を伺う。</p>

質問順位 2

議席番号 2番

氏名 高橋 武志

質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
1. 一般行政について	<p>1. 安全・安心な、まちづくりについて 夜間における歩行者の安全・地域の安全・安心な生活を確保し、防犯を目的として設置されている防犯灯・街路灯・商工業灯などの設置状況と、その維持・管理について伺います。</p> <p>2. 市民の要望・提案・苦情などの窓口の相談状況とその対応について 市民無料相談窓口が、広報みさわ「情報ねっと」欄に掲載され、三沢市のホームページでも案内し、またマックテレビの情報宅配便「三沢市からのお知らせ」などの番組でも、相談窓口が放映されています。 生活安全に係わる防犯灯・街路灯の整備について、市民からの要望・提案・苦情などの相談状況とその対応について伺います。</p>

質問順位 3

議席番号 10番

氏名 春日 洋子

質問時間 15分

質問事件	質問の要旨
1. 行政問題	<p>空き家対策について 近年、各地で空き家が急増し、社会問題となっています。 実効性ある対策が必要となっていることから、 ①本市における空き家の現状と、これまでの取り組みについて ②「空き家バンク」の取り組みについて 以上、2点について伺いたい。</p>
2. 福祉問題	<p>地域包括ケアシステムについて 医療・介護の需要が急速に増すことが見込まれる中、地域包括ケアシステムは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年を目途に、それぞれの市町村ごとに地域単位で作り上げる制度です。 そこで地域包括ケアシステムに対する本市の考え方について伺いたい。また、地域包括ケアシステムを構築するための医療・介護総合確保推進法案の中で認知症対策が位置づけられていることから、認知症に対する本市の取り組みについて伺いたい。</p>
3. 環境問題	<p>動物愛護について 全国の犬猫の殺処分数は減少傾向にあるものの、ペットブームの陰で捨て犬や野良猫が増え、2012年度は16万匹を超えており、わが国は“動物愛護後進国”と指摘されています。 殺処分ゼロをめざす取り組みが求められていますが、 ①保健所や、動物愛護センターに持ち込まれる犬猫の数と、殺処分数の現状をどのように把握しているか、伺いたい。 ②また、殺処分数を減らすための普及啓発について、伺いたい。</p>

質問事件	質問の要旨
<p>1. 基地問題</p> <p>2. 行政問題</p> <p>3. 農畜産問題</p>	<p>1. 航空機騒音の集団移転取り組みについて 本市は、航空機騒音対策を国に地域の実情にあった移転対象区域（浜三沢、岡三沢五、六丁目地区）の移転補償の見直しを要望してきたが、国は騒音測定の結果だとし実現が図られていません。 両地区は、共に騒音被害が激しく、国の騒音測定結果により地区も二分されている。 抜本的解消を図るには集団移転以外には道はありません。 従って、集団移転の特別対策を国に要望する考えがあるか問う。</p> <p>人口減少時代への対応について</p> <p>① 本市の人口予測について 世界に例のない人口減少に向う日本。 2060年に8,600万人余りまで減少すると推計されている。 人口減少は税収が減り、行政サービスを維持できなくなる恐れがあります。 本市の今後の人口減少予想を伺いたい。</p> <p>② 人口減少対策への取り組みについて 人口減少時代を迎え、これまでのハードな行政からソフト面重視の行政に転換する必要がある。 地方の特殊性や多様性を競いながら、地方自治の原点に立った街づくりが問われています。それには、首長をはじめ、管理職の意識改革が規模の大小に関わりなく格差がつくことになる。 そこに地方公共団体の存在価値が問われ「自ら考え、自ら実行する地方自治」の原点に立って、人口減少時代を迎えている今こそ、本市の街づくりに一石を投ずべきと思うが、市長の決意を伺いたい。</p> <p>豚流行性下痢（PED）対策と影響等について</p> <p>①全国各地で感染が広がっている豚流行性下痢（PED）が、本県の養豚場にも広がっています。 いまだ国内の感染拡大の原因は分かっておりません。 本市には大規模経営の養豚場があるが、本市の発生状況と被害頭数はどのくらいか伺いたい。</p> <p>②豚流行性下痢対策に有効なのがワクチン接種と言われています。 養豚農家はワクチンの確保に不安を抱えています。 ワクチン確保体制の状況と防疫体制等の総合対策への取り組みについて伺いたい。</p> <p>③本市には国内最大規模の三沢市食肉処理センターがあり、豚流行性下痢（PED）により、処理頭数が減少することが心配されるが、今後の見通しと市畜産公社への収入減少の有無について伺いたい。</p>

質問事件	質問の要旨
1. 行政問題	<p>1. 市民活動保険制度について</p> <p>少子高齢化や社会環境の変化が進む中、市民によるボランティア活動は、当市の進める「協働のまちづくり」に欠かすことのできない重要な事案であります。そうした中、活動中にケガや事故が発生した際の保険対応は、事業ごとに様々であり、未加入の場合も多々あると思われます。</p> <p>そこで、以下の3点について市民ボランティア活動に対する保険制度について伺います。</p> <p>①市の主催、共催、さらに市が依頼した事業での保険制度の現状について伺いたい。</p> <p>②市民の自主的ボランティア活動に対しての保険制度について伺いたい。</p> <p>③全国で加速的に導入されている「市民活動保険制度」の導入について当局の見解を伺いたい。</p> <p>2. 三沢市の都市計画について</p> <p>平成22年11月に三沢病院が移転となり、その後三沢空港から三沢病院へとつながる（市道東岡三沢・松原線）が整備され、交通体系や土地利用の多様化が市民の関心を高めている中、以下2点について伺いたい。</p> <p>①三沢市の都市計画のこれまでの経緯と現状について伺いたい。</p> <p>②今後の三沢市の都市計画の方向性について当局のお考えを伺いたい。</p> <p>3. 三沢市の町名整理について</p> <p>当市における町名整理の現状と今後の対応について伺いたい。取り分け、浜三沢地区の移転先の町名整理を急ぐべきと考えるが当局のお考えを伺いたい。</p>